

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
6	商工費	1	100104	町中小企業融資事業

事務事業名 町中小企業融資事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

庁内の金融機関と融資制度を設け、町内に事業所を構える中小企業に対し、融資を斡旋する。本融資の受託者に対し、町は保証料全額と利子の一部を補給している。

2. 対象(何を対象にしているか)

町内中小企業

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

事業経営の基礎となる金融の円滑化を図り、町内中小企業者の育成振興及び経営合理化並びに近代化を図る。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

・町が指定する町内の金融機関と融資制度を設け、町内に事業所が所在する中小企業に対し融資を斡旋する。本融資の借受者に対し、保証料全額と利子の一部を補給。
 ・令和2年3月25日緊急対策融資を追加し、災害その他非常の事態への対応を行っている。
 ・令和2年3月25日付けで新型コロナウイルス感染症を緊急対策融資の対象とした。(中小企業経営近代化資金緊急対策融資実施要綱による。)また、令和2年4月1日以降の緊急対策融資に係る利子補給については、その全額を補給することとした。

2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

通常の融資制度を継続するほか、新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策融資は、国や北海道の制度やセーフティネットの状況も見ながら延長等を検討する。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	300,000,000	300,000,000	300,000,000
		一般財源	円	9,791,844	12,658,513	9,711,000
		事業費計(A)	円	309,791,844	312,658,513	309,711,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1581	0.1416	
人件費計(B)		円	1,231,562	1,100,460		
		トータルコスト(A+B)	円	311,023,406	313,758,973	
活動指標						

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
中小企業融資資金貸付元金収入	円	300,000,000	300,000,000	300,000,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

○ 令和4年度芽室町中小企業融資事業

(1) 中小企業融資あっせん貸付実行内訳

商工会での審査を経て、融資申込があった案件について申込者等の納税状況を確認し貸付を決定する。

資金種別		令和3年度		令和4年度	
		件数	金額	件数	金額
経営近代化資金(一般)	設備資金	6件	26,990,000円	8件	50,900,000円
	運転資金	10件	124,000,000円	14件	135,000,000円
経営近代化資金(緊急)	設備資金	1件	5,000,000円	1件	3,000,000円
	運転資金	9件	36,000,000円	3件	11,000,000円
合計		26件	191,990,000円	26件	199,900,000円

(2) 芽室町中小企業融資償還状況(令和4年4月～令和5年3月)

資金種別		期首融資残高 (令和4年4月現在)		期中貸付 実行額	期中償還額	期末融資残高 (令和5年3月末現在)	
		件数	金額			件数	金額
経営近代化 資金(一般)	設備資金	47件	134,133,800円	50,900,000円	42,955,800円	42件	142,078,000円
	運転資金	68件	361,458,200円	135,000,000円	139,344,200円	56件	357,114,000円
経営近代化 資金(緊急)	設備資金	2件	8,404,000円	3,900,000円	2,362,000円	4件	9,942,000円
	運転資金	73件	236,808,400円	11,000,000円	57,288,800円	74件	190,519,600円
合計		190件	740,804,400円	200,800,000円	241,950,800円	176件	699,653,600円

(3) 芽室町中小企業融資に係る融資機関への原資預託

金融機関名	令和3年度	令和4年度
北海道銀行 芽室支店	150,000,000円	150,000,000円
帯広信用金庫 芽室支店	150,000,000円	150,000,000円
合計	300,000,000円	300,000,000円

(4) 芽室町中小企業融資に係る利子補給

※件数は上期分、下期分の合算件数(対象融資重複あり)

資金種別		令和3年度		令和4年度	
		件数	金額	件数	金額
経営近代化資金(一般)	設備資金	105件	879,898円	97件	867,742円
	運転資金	168件	1,467,189円	136件	1,489,473円
経営近代化資金(緊急)	設備資金	4件	128,964円	8件	168,883円
	運転資金	142件	3,546,093円	148件	3,023,182円
合計		419件	6,022,144円	389件	5,549,280円

(5) 芽室町中小企業融資に係る保証料補給

資金種別		令和3年度		令和4年度	
		件数	金額	件数	金額
経営近代化資金(一般)	設備資金	6件	799,837円	9件	1,947,368円
	運転資金	10件	3,278,203円	14件	4,757,103円
経営近代化資金(緊急)	設備資金	1件	206,250円	2件	91,327円
	運転資金	9件	1,041,150円	3件	313,435円
合計		26件	5,325,440円	28件	7,109,233円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
6	商工費	1	150502	起業・創業支援事業

事務事業名 起業・創業支援事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 起業に興味のある、起業をしたい、起業を考えている方を対象にセミナーを開催する。また、起業の後押しとなるようにセミナー実施後に個別オンライン相談会を開催。
2. 対象(何を対象にしているか) 起業に興味のある、起業をしたい、起業を考えている方
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 起業のノウハウを学んでもらい町内で起業するきっかけづくりとする

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・平成27年度から女性限定の起業セミナーを継続開催し、これまで受講者からも数名町内で起業者を輩出してきたが、近年は参加者数が低減している状態にあったことから、令和4年度より女性限定の開催ではなく、性別関係なく受講者を募集したところ、過去最多の延べ参加人数を得ることができた。 一方で、セミナー受講後及び起業後のフォローアップにより、起業の実現あるいは持続性のある事業運営への更なる支援策を講じる必要がある。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・個別オンライン相談を月に一度開催し、アドバイザーへの相談の機会を定例化。 ・町内起業者と起業を志す方の交流会を開催する。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	363,706	330,580	484,000
		事業費計(A)	円	363,706	330,580	484,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1216	0.1663	
人件費計(B)		円	947,236	1,292,419		
トータルコスト(A+B)		円	1,310,942	1,622,999		
活動指標	セミナー開催数	回	4	3	3	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

■起業セミナー参加実績及び年別起業数

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	累計
延べ参加者数	34名	18名	21名	16名	13名	17名	13名	47名	179名
起業数※	0件	0件	1件	1件	1件	2件	0件	1件	6件

※町の施策に参加したうえで起業した実績数

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
6	商工費	1	150402	元気な商店街づくり支援事業

事務事業名 元気な商店街づくり支援事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

みなくる商店会等が実施する商店街振興のための事業を支援し、魅力ある商店街や個店づくりにつなげる

2. 対象(何を対象にしているか)

みなくる商店会、商工会会員

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

商店街や個店の魅力向上による集客、新たな顧客の獲得につなげる

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

ネット通販や郊外の大型店への消費流出など、商店街や個店をとりまく環境は厳しくなっており、今後の事業の継続や新規事業の創出のためには商店街や個店の魅力向上による集客、新たな顧客の獲得が必要になる。

2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

みなくる商店会等が実施する商店街振興のための事業を支援し、魅力ある商店街や個店づくりにつなげる。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円		1,652,857	
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円		87,520	3,700,000
		事業費計(A)	円		1,740,377	3,700,000
	人件費	正職員従事人数	人		3	3
		人工数(業務量)	人工		0.3059	
人件費計(B)		円		2,377,335		
		トータルコスト(A+B)	円		4,117,712	
活動指標	実施事業数		事業		2	3

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
新型コロナウイルス対応臨時交付金	円		1,652,857	
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

商店街等振興事業補助金

1)めむろみなくるスタンプラリー

1 目的

スタンプラリー及びスタンプラリーと連動した抽選会を実施し、ロングランでの周遊と来店促進を図り商店街振興に取り組むめむろみなくる商店会に対し、その費用を補助する。

2 事業実施主体

めむろみなくる商店会(参加加盟店51店舗)

3 実施期間

令和4年7月1日から令和4年11月30日まで(スタンプラリー 令和4年9月9日～30日)

4 応募数等

応募総数454件／当選者389人

2)Memuro Unite Project

1 目的

本通の空き店舗を拠点として整備し、拠点を中心にイベント等を開催することで誘客を図り、商店街振興に取り組む芽室町商工会青年部に対し、その費用を補助する。

2 事業実施主体

芽室町商工会青年部

3 事業実施期間

令和4年6月1日から令和5年1月31日まで

4 内容

- ・空き店舗を改修した拠点の整備(Memuro Unite Base・本通2丁目13番地1)
- ・「めむろ夏フェス」及び「めむクリ」と連動したイベントの開催

①夏フェス×Memuro Unite Project

実施日:令和4年8月11日

実施企画:まちなかコーン祭り、コーン活散走、こども縁日、映画館、芽室馬車

②めむクリ×Memuro Unite Project

実施日:令和4年12月17日

実施企画:高校生CLUB～Party Night～

③本格運用(2年目以降)に向けた協議

実施日:随時

商工会青年部、JA青年部、町内若手有志等により2年目以降の拠点の本格運用に向けた協議

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
6	商工費	1	2	2	150109	雇用・労働関係相談対応事業

事務事業名 雇用・労働関係相談対応事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 町内企業、事業所における人手不足を解決するため、無料職業紹介所(地方版ハローワーク)を運営する。
2. 対象(何を対象にしているか) ・求人企業、求職者 ・町内企業等
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 求人企業と求職者をマッチングし雇用につなげる。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・地域内各産業に共通する人材確保の課題解決の一助として、2020年1月に芽室町ハローワーク(無料職業紹介所)を設置し、2021年7月からはその運営を民間団体に委託している。 ・町内事業者の求人と求職者をマッチングすることで、事業者の人手不足の解消を図ると共に、町内で就労を希望する方への支援も行っている。 ※2020年度のみ雇用促進住宅に関する事業費が含まれている(2020年度供用開始、2021年度から事務事業分離)。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・芽室町ハローワークの認知度向上に伴い、地方版ハローワークとしては極めて高い成果をあげている。 ・この成果を、移住定住施策や障がい者雇用支援施策など、関連事業につなげていくと共に、町内事業者に対し、さらなる芽室町ハローワークの周知を継続していく。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	132,406		
		一般財源	円	5,500,620	6,040,000	6,576,000
		事業費計(A)	円	5,633,026	6,040,000	6,576,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1082	0.1120	
人件費計(B)		円	842,853	870,420		
		トータルコスト(A+B)	円	6,475,879	6,910,420	
活動指標	地方版ハローワーク相談窓口数	箇所	1	1	1	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
会計年度任用職員労働保険個人負担金(労政費)	円	125,736		
建物災害保険料返還金(労政費)	円	6,670		
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

■芽室町ハローワーク(無料職業紹介所)実績

	R2	R3	R4	合計
新規登録求人企業数	35社	25社	29社	89社
新規登録求職数	67人	68人	91人	226人
マッチング数	34件	29件	41件	104件

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
6	商工費	1	4	観光費	090504	芽室町観光物産協会運営支援事業

事務事業名 芽室町観光物産協会運営支援事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・芽室町観光物産協会への支援を通じて、芽室町の地域資源を活かした観光及び物産振興につなげる。
2. 対象(何を対象にしているか) ・芽室町観光物産協会
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・物産の販促強化 ・協会主催イベントの入込客数増加

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 昭和37年5月に芽室町の観光資源開発を積極的に進め、特色ある観光地として発展させるために芽室町観光協会が設立され、平成21年から物産振興も含めた、観光物産協会となる。 令和4年度に、事務所をめむろ一ど1階に移転し、同年創立60周年を迎えた。 具体的なアクションプランなどが十分ではなく、今後の方向性が明確になっていないため、観光・物産振興ビジョンが必要となっている。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 食や景観といった本町の観光資源を生かした観光PRと連動した出展や多様なメディアを活用することによる販路の拡大。ふるさと納税返礼品開拓等を行い、安定した経営状況の実現による観光物産協会の自立を目指す。今年度、観光・物産振興ビジョンの策定を行うこととし、町の地域ブランディングと連動した動きを行っていく。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	13,235,752	16,875,000	17,606,000
		事業費計(A)	円	13,235,752	16,875,000	17,606,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	4
		人工数(業務量)	人工	0.5154	0.4692	
人件費計(B)		円	4,014,845	3,646,439		
トータルコスト(A+B)		円	17,250,597	20,521,439		
活動指標	補助金(予算額)	千円	13,236	16,875	17,606	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

(1) 観光推進事業

芽室町の観光資源や既存イベントを活かした芽室町の魅力発信を行う。
めむろまちの駅運営により、町民に対する魅力発信を行う。

○イリスフェスタ

- ・令和4年度は6年ぶりに開催
- ・7月16日(土)～18日(月)の3日間 来場者420名
- ・観光PRテント設置、夜間ライトアップ実施、苗販売(環境土木課)

○氷灯夜2023

- ・2月4日(土)15:00～20:30 来場者8,000人
- ・アイスクャンドル、冬のサウナ、音楽フェス、氷灯夜の主張、ライブ配信、BMXショー、ファットバイク体験

(2) 物産普及事業

基幹産業である農業を核とした「食」をテーマとする誘客に努め、各都市で開催される物産イベント等へ参加し芽室町の物産の魅力を発信するとともに販路拡大を図る。また、ふるさと納税を通して物産振興を図る。

○十勝平原サービスエリア販売

- ・4月25日～11月6日 ※左期間のうち計168日間出店

○公園内観光案内所運営

- ・4月29日～9月10日 ※左期間のうち41日間出店

○イベント販売

- ・8月5日(金) 愛菜屋スイートコーン祭り キッチンカー出店
- ・8月6日(土) 創立60周年記念ビアガーデン キッチンカー出店
- ・8月11日(日) 夏フェス キッチンカー出店
- ・8月21日(日) 小さな森のマルシェにて揖斐川町特産品販売
- ・8月27日(土)・28日(日) 第35回発祥の地杯全国GB大会 出店
- ・9月4日(日) 愛菜屋えだまめ祭り キッチンカー出店
- ・9月10日(土) 芽室神社秋季大祭縁日 キッチンカー出店
- ・9月29日(木)～10月2日(日) 第26回北海道味覚産直フェア(東京代々木) 出店
- ・10月15日(土)・16日(日) 勝ちフェス 出店
- ・11月3日(金) 愛菜屋一品プレゼント キッチンカー出店
- ・11月23日(水) JAめむろ大感謝祭 キッチンカー・店舗出店
- ・12月11日(日) 第43回広尾まんぷくまつり 出店
- ・2月4日(土) 氷灯夜2023 キッチンカー・店舗出店

(3) 令和4年度の成果

芽室町外からの観光入込客数が19,200人/年増加した。(160,800人/年→180,000人/年)

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
6	商工費	1	4	観光費	100201	町観光・特産品普及事業

事務事業名 町観光・特産品普及事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
・芽室町の魅力を発信し、観光誘客と物産の需要拡大を図る

2. 対象(何を対象にしているか)
・観光客

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
・観光消費や物産購入につなげる。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
観光資源と特産品の魅力を発信し、町内外に芽室町の良さを知ってもらおう。北海道新幹線の開通、道東自動車道の延伸、SNS等の発達、インバウンド対策、アウトドアを核とするDMOの設立、さらにはウィズコロナ社会における観光・物産振興など、常に変化する環境に対応した政策展開が必要である。
また、観光物産の明確な方向性や目的を整理した、観光・物産振興ビジョンが必要である。

2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)
観光・物産振興の目指すべき方向性を明確にするため、観光・物産振興ビジョンの策定を、地域ブランディングの動きを連動させながら、観光物産協会と連携して取り進める。
サイクルツーリズムを継続して推進し、ナショナルルートのサブルート選定・登録を目指す。日高山脈国立公園化を見据え、関係自治体との連携や新たな観光コンテンツとしてNFTの活用など、様々な可能性を模索しながら、観光振興を進める。
地域活性化起業人制度により協定締結したぐるなび(株)と連携して首都圏レストランとの繋がりを、芽室食材を活用した新メニュー提供により、素材の価値を高めていく。新嵐山再生の動きへの対応、野遊びSDGs連携自治体などと連動しながら観光資源と特産品の魅力を発信していく。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円	5,048,850	4,962,500	
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	296,749	819,000	1,247,000
		一般財源	円	11,925,442	12,723,100	13,669,000
		事業費計(A)	円	17,271,041	18,504,600	14,916,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	4
		人工数(業務量)	人工	0.5091	0.4692	
人件費計(B)		円	3,965,770	3,646,439		
トータルコスト(A+B)		円	21,236,811	22,151,039		
活動指標	事業費(予算額)	千円	17,853	18,691	14,916	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
寄附金管理基金繰入金	円		571,000	1,247,000
会計年度任用職員労働保険個人負担金(観光費)	円	296,749	248,000	-
地方創生推進交付金(観光費)	円	5,048,850	4,962,500	-
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

○観光普及事業

観光資源の魅力を広く発信しながら、本町の観光PRを行う。

(1) サイクルツーリズムの推進

芽室町の食や景観といった魅力ある観光資源をつなぎ発信する手段として、自転車を活用した観光振興策であるサイクルツーリズムを推進する。平成29年度に設置した芽室町サイクルツーリズム協議会を中心に取組みを進め、令和4年度からは(一社)十勝プラスが事業継承し、推進を図っている。

・サイクルツーリズム推進事業 2,746,000円

●活動実績

①町との定例報告会

②めむろ散走イベントの企画実施(合計19回実施、延べ90人参加)

- ・顧客ニーズに合わせた各種オーダーメイドツアーを実施
- ・R4からチャイルドシート付き自転車を導入し、利用者層を拡大
- ・ATに関連した新規ツアーを造成するなど、メニューの拡充を図った

③情報発信(通年)

- ・公式HP、インスタグラム、フェイスブック、ツイッター、ユーチューブを活用
- ・新聞、ラジオ、テレビなどで情報発信

④ジモト大学との連携

- ・学生と連携し、新たなめむろ散走メニューの造成や、サイクルを通しての地域学習を実施

⑤冬期間におけるサイクルツーリズムの取組み

- ・新嵐山スカイパークを活用したアクティビティの実施
スノーデュアスロン大会(2月23日実施 19人参加)
ヒルクライム大会(3月5日実施 15人参加)
早朝ダウンヒルイベントは新嵐山との調整がつかず、未実施
- ・氷灯夜で、「一夜限りのファットバイクパーク」を実施

⑥レンタサイクル事業の普及

- ・初めて、個人・法人向けのレンタサイクルを実施(10件、延べ42台の利用実績)
- ・2次交通課題の解決に向け、充実を図っていく

⑦オンライン、オフラインでのPR

- ・関係各所へのパンフレット設置
- ・教育現場や観光関係機関にて、サイクルツーリズムに関する講演を実施

(2) 地方創生推進交付金の採択による広域地方創生(観光振興)

- ・野遊びSDGs資源調査委託料 7,425,000円
- ・野遊びSDGs協議会負担金 2,500,000円

●活動実績

- ・ワークショップ「野遊び商品の確定」 7月～2月(全6回)
- ・モニターツアー 8月11日
- ・ノアソビSDGsいなべ市モニターツアー(3市町合同開催) 11月10日～11日

○特産品普及事業

物産販売を通じて、芽室町の認知度向上や販路拡大に結びつく可能性があるものについて、優先的に取り組む。

(1) 特産品販売促進

- ・12月11日 広尾毛がにまつり(R4: 広尾まんぷくまつり)

(2) 特産品PR提供

- ・随時 企業等へ提供

○令和4年度の成果

- ・芽室町外からの観光入込客数が19,200人/年増加した。(R3 160,800人/年→R4 180,000人/年)

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
6	商工費	5	150110	企業支援対策事業

事務事業名 企業支援対策事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

近年の人手不足対策が深刻化し、町内企業も人材確保が困難な状況に直面していることから、町内企業の労働力確保を支援するための事業を実施しようとするもの。

2. 対象(何を対象にしているか)

町内企業の事業主、採用担当者の方。

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

町内企業の労働力確保の支援や人材不足の解消をしようとするもの。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

立地企業の人手不足対策、若い世代の人材確保支援。

2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

- (1) 就職合同説明会参加への助成
企業による新たな労働力市場の開拓を後押しする。
- (2) 採用担当者向けセミナーの開催
企業による採用能力の向上を後押しする。2023年度は、オンラインのみでの開催を予定。
- (3) 地元企業の紹介
立地企業、教育関係者等との意見交換により、ニーズの把握を図り事業展開に役立てる。
また、先進事例の情報収集を図る。
- (4) 全国事例を調査するなどして、立地企業のニーズに合致する人材確保支援策について企画立案を行う。
2023年度の全国事例調査をもとに、より企業のニーズに合った支援策を実施する。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	226,784	219,657	238,000
		事業費計(A)	円	226,784	219,657	238,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.3955	0.3774	
人件費計(B)		円	3,080,852	2,933,006		
		トータルコスト(A+B)	円	3,307,636	3,152,663	
活動指標	採用担当者向けセミナー開催数	回	1	2	1	
	立地企業ガイドブック発行回数	回	3	3	2	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

《採用担当者向けセミナーの開催》

・第1回目(オンライン開催)

開催日時 令和4年5月27日(金)13時30分～15時00分
参加者 9社11名
講師 株式会社マイナビ 未来応援事業本部 高校支援統括本部
locus推進部 locus営業課 木村 勇次 氏

・第2回目

開催日時 令和4年10月28日(金)13時30分～15時00分
参加者 7社7名
講師 社会保険労務士法人プラスワン 特定社会保険労務士 猫塚 優 氏

《人材確保対策助成金の交付》

- ・助成決定企業 1社
- ・助成対象内容 企業合同説明会参加費用に対する助成(札幌市内開催)

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
6	商工費	6 めむろ駅前プラザ費	100112	めむろ駅前プラザ維持管理事業

事務事業名 めむろ駅前プラザ維持管理事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 中心市街地再開発事業で整備された中心市街地活性化の中核施設である「めむろ一ど」を適正に管理して一層の集客化を図り、中心商業地域の振興と活性化を進めるため、施設維持管理に係る費用を負担する。
2. 対象(何を対象にしているか) めむろ一ど(めむろ駅前プラザ)
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 中心市街地活性化の中核施設である当該施設の適正な管理の実施。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 中心市街地再開発事業で整備された中心市街地活性化の中核施設である「めむろ一ど」を適正に管理して一層の集客化を図り、中心商業地域の振興と活性化を進めるため、施設維持管理に係る費用を負担する。 平成18年度から指定管理者制度を導入し、より行き届いた施設管理等が行えるようになった。平成19年度に使用料を増額改定し利用回数が減少したが、平成24年度に平成19年度改定以前の額に改正したことで、増額改定前の水準に回復した。ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響で利用回数減少傾向。 平成28年度、開設後18年経過した老朽化する当該施設の修繕計画を策定し、平成29年度より計画に基づいた修繕を実施している。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 平成28年度に策定した修繕計画に基づき施設改修を実施。平成30年度に実施した第1期、令和元年度に第2期外壁改修を実施。令和5年度に空調機器(エアコン)の更新、照明器具のLED化工事を実施予定。 令和5年度で開設から25年が経過し、施設の老朽化が進行しており、今後、高圧受電設備、ボイラー等の更新時期を迎えるため、それぞれの必要時期・費用を改めて確認・修繕計画に反映し、順次更新を実施していく必要がある。 めむろ一どの共有部分の修繕・設備更新については、めむろ一ど管理協議会の修繕積立金を財源として実施されているが、大規模な修繕・設備更新については、めむろ一どが中心市街地活性化の中核施設であることを鑑み、町の支援金(現状50%)も財源とすることとなっているため、駅前プラザ(公共施設)部分だけでなく、めむろ一ど全体の修繕計画についても管理協議会と協議の上、定めていく必要がある。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	2,132,779	2,697,091	39,685,000
		一般財源	円	47,910,566	47,557,641	47,020,000
		事業費計(A)	円	50,043,345	50,254,732	86,705,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.2901	0.1667	
人件費計(B)		円	2,259,811	1,295,527		
		トータルコスト(A+B)	円	52,303,156	51,550,259	
活動指標						

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
めむろ駅前プラザ使用料	円	2,059,695	2,652,035	2,139,000
めむろ駅前プラザ自動販売機等使用料	円	62,254	34,656	34,000
私用電話料(めむろ駅前プラザ費)	円	10,830	10,400	12,000
めむろ駅前プラザ照明器具改修事業債	円			14,600,000
めむろ駅前プラザ空調改修事業債	円			22,900,000
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

令和4年度めむろ駅前プラザ利用状況

25,033人 (令和3年度 17,190人)

1) 利用目的別使用回数

No	利用目的	回 数				
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①	講演会	37回	34回	19回	20回	26回
②	会議、例会等	339回	292回	250回	287回	307回
③	研修会	79回	79回	65回	56回	48回
④	記念祝賀会、イベント等	116回	109回	10回	16回	26回
⑤	結婚式					
⑥	展示販売会	30回	24回	18回	15回	43回
⑦	作品展	11回	15回	8回	23回	21回
⑧	サークル、文化活動	125回	168回	115回	111回	170回
⑨	その他(準備、控え室、リハーサル等)	144回	160回	112回	156回	187回
合 計		881回	881回	597回	684回	828回

2) 部屋別利用状況

No	部屋名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①	セミナーホール	回数	16	15	15	30	15	18	20	23	21	26	31	15	245
		使用人数	773	730	652	1,202	2,678	921	747	1,466	3,302	1,730	1,765	926	16,892
②	セミナー室	回数	16	16	10	14	15	13	13	12	11	17	17	18	172
		使用人数	402	166	82	136	309	128	156	159	205	345	185	227	2,500
③	和室	回数	7	10	10	14	8	7	11	13	11	12	15	12	130
		使用人数	77	100	97	113	85	91	99	92	141	100	159	109	1,263
④	レファレンス	回数	15	23	19	17	18	20	20	23	19	13	19	20	226
		使用人数	212	284	247	251	235	249	271	310	246	195	259	295	3,054
⑤	調理室	回数				2	2		1	3		2	1	1	12
		使用人数				5	6		8	12		25	3	6	65
⑥	ホワイトエ	回数		8	9					4	15	7			43
		使用人数		226	69					118	551	295			1,259
⑦	テラス	回数													
		使用人数													
R4合計		回数	54	72	63	77	58	58	65	78	77	77	83	66	828
		使用人数	1,464	1,506	1,147	1,707	3,313	1,389	1,281	2,157	4,445	2,690	2,371	1,563	25,033
(参考)R3合計		回数	73	43	29	77	47		83	101	73	50	37	71	684
		使用人数	1,442	779	657	2,532	997		1,508	2,516	3,020	1,116	628	1,995	17,190
(参考)R2合計		回数	11		55	53	53	59	80	51	40	71	63	61	597
		使用人数	97		1,166	1,730	1,758	975	2,059	840	2,411	1,161	1,091	906	14,194
(参考)R1合計		回数	85	80	86	65	92	70	79	78	66	80	74	26	881
		使用人数	1,788	3,998	2,758	1,316	4,503	1,234	5,287	1,658	2,431	2,963	2,517	337	30,790
(参考)H30合計		回数	70	89	78	67	81	69	71	69	54	89	73	71	881
		使用人数	1,703	4,029	2,331	1,271	3,691	2,194	1,864	1,881	1,485	3,064	2,693	2,221	28,427

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
6	商工費	7 新嵐山スカイパーク費	100213	新嵐山スカイパーク運営支援事業

事務事業名 新嵐山スカイパーク運営支援事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
・新嵐山スカイパーク一帯の施設整備及び維持管理を行う。

2. 対象(何を対象にしているか)
・施設利用者

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
・利用者数の増加

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
「町営」としていたが、景気低迷等による運営費赤字が増加したため、「廃止」を含めて検討したが、最終的には平成18年度から「指定管理者制度」により運営している。
新嵐山スカイパーク一帯の施設・整備の老朽化が進み、安全性確保や運営上の問題から段階的な修繕や設備の更新などにより、修繕など施設整備にかかる費用の増加が見込まれる。
利用者が求める環境、快適に過ごせる環境の整備を実施することにより、新嵐山一帯の利用者数増加、ひいては観光入込客数の増加につなげることが課題である。

2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)
新嵐山スカイパークの再生に向け、新嵐山活用計画「リユラル インザ・スカイパーク」を策定(2020年3月)し、芽室町の個性を体感できる場づくりを目指した施設整備、官民協働の視点を活かした管理運営を進めながら、スカイパーク一帯の資源を活用した新しい魅力づくりに取り組む。なお、2020年度に指定管理者を公募し、2021年度から新指定管理期間(2023年度まで)をスタートしている。2022年度は新嵐山を取り巻く環境変化への対応と新嵐山活用計画に対する町民ニーズの把握・反映するため、「新嵐山スカイパーク自分ごと化会議」を設置し、新嵐山活用計画の検証を行う。2023年度は新嵐山活用計画の見直しを進めるとともに、2024年度からの新指定管理期間に向けた次期指定管理者の公募を行う。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円	9,200,000	22,700,000	
		その他(使用料等)	円		385,000	6,085,000
		一般財源	円	84,375,766	76,086,646	63,722,000
		事業費計(A)	円	93,575,766	99,171,646	69,807,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.0451	0.0411	
人件費計(B)		円	351,318	319,413		
		トータルコスト(A+B)	円	93,927,084	99,491,059	
活動指標	管理運営委託料		円	54,815,000	53,495,000	53,495,000
	施設整備費		円	33,733,436	39,137,228	10,839,000

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
寄附金管理基金繰入金	円		385,000	6,085,000
ヤスマット整備事業債	円	9,200,000		
メモロスキー場人工降雪機整備事業債	円		22,700,000	
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

○新嵐山スカイパーク(宿泊・スキー場・公園・キャンプ場等)の管理運営を、芽室町が100%出資する第3セクター「めむろ新嵐山株式会社」に平成14年4月1日から委託。

1) 国民宿舎新嵐山荘宿泊者数推移 (年度毎の月別) 単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H20年	273	357	465	647	940	701	516	394	330	519	340	290	5,772
H21年	149	455	420	854	854	606	489	309	351	333	342	316	5,478
H22年	237	343	422	633	731	462	559	267	370	578	373	279	5,254
H23年	184	353	595	539	692	498	481	287	391	392	254	253	4,919
H24年	193	378	432	594	729	539	528	316	507	371	266	250	5,103
H25年	230	346	383	878	891	527	390	210	341	347	280	258	5,081
H26年	105	327	360	858	980	529	543	281	411	322	255	174	5,145
H27年	208	376	530	590	744	601	428	175	209	258	186	210	4,515
H28年	209	325	426	890	1,151	610	593	472	421	277	329	265	5,968
H29年	341	474	412	1,063	1,276	735	745	417	398	535	306	234	6,936
H30年	293	441	567	899	1,231	644	485	269	353	290	312	146	5,930
R 1年	278	492	745	783	1,219	703	491	278	340	386	233	87	6,035
R 2年	53	51	85	201	287	231	384	120	60	61	111	34	1,678
R 3年	34	144	36	351	433	123	186	186	259	145	45	68	2,010
R 4年	177	318	342	545	786	614	433	340	93	161	169	137	4,115

2) 国民宿舎新嵐山荘宿泊者数推移 (年度別) 単位:人

H1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
9,435	11,486	13,575	13,577	15,058	13,563	13,259	12,689	11,149	10,286	9,166	7,382	7,366	7,878	8,103	8,019	6,924	6,452	6,280
20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年	R2年	R3年	R4年				
5,772	5,478	5,254	4,919	5,103	5,081	5,145	4,515	5,968	6,936	5,930	6,035	1,678	2,010	4,115				

3) 国民宿舎新嵐山荘宿泊者の地域別推移

	芽室町内	十勝管内	北海道内	北海道外		芽室町内	十勝管内	北海道内	北海道外
H20年	17.7%	30.5%	32.7%	19.1%	H21年	22.9%	21.6%	33.6%	21.9%
H22年	16.3%	34.9%	26.7%	22.1%	H23年	26.9%	22.6%	22.7%	27.8%
H24年	28.5%	22.2%	22.7%	26.6%	H25年	22.6%	22.4%	27.6%	27.4%
H26年	18.6%	16.6%	33.6%	31.2%	H27年	19.7%	18.3%	29.3%	32.7%
H28年	15.6%	12.1%	40.1%	32.2%	H29年	10.9%	12.8%	44.1%	32.2%
H30年	11.3%	14.4%	40.4%	33.9%	R 1年	6.2%	11.8%	41.3%	40.7%
R 2年	3.7%	7.7%	50.1%	38.5%	R 3年	5.9%	13.6%	38.3%	42.3%
R 4年	3.6%	7.8%	48.8%	39.8%					

4) メムロスキー場リフト乗降客数推移(年度毎の月別) 単位:人

	12月	1月	2月	3月	合計
H20年	34,859	180,036	168,766	70,323	453,984
H21年	50,241	196,006	158,710	73,124	478,081
H22年	38,540	209,719	168,272	64,799	481,330
H23年	59,323	200,889	160,127	78,990	499,329
H24年	64,710	197,087	180,729	67,664	510,190
H25年	10,880	121,859	154,425	61,556	348,720
H26年	57,807	201,249	154,159	79,791	493,006
H27年	25,522	174,570	141,238	68,264	409,594
H28年	54,004	195,613	147,344	74,197	471,158
H29年	57,427	199,881	156,931	66,935	481,174
H30年	30,113	146,040	152,802	49,919	378,874
R 1年	15,621	123,460	179,460	37,813	356,354
R 2年	9,944	121,075	105,674	41,365	278,058
R 3年	2,953	95,077	113,907	55,021	266,958
R 4年	16,892	120,896	120,995	37,406	296,189

事務事業の成果に関する説明

5) メムロスキー場リフト乗降客数推移 (年度別)

H1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
973,714	1,144,747	1,106,914	1,178,453	1,083,091	951,033	1,056,106	1,041,691	943,848	863,960
11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
787,780	697,570	665,451	603,361	544,119	570,447	533,002	434,094	442,428	453,984
21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
478,081	481,330	499,329	510,190	348,720	493,006	409,594	471,158	481,174	378,874
R1年	R2年	R3年	R4年						
356,354	278,058	266,958	296,189						

6) 新嵐山キャンプ場[フリーサイト]利用者数推移 (年度毎の月別) 単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R 3年	138	179	135	1,091	1,587	699	266	167	77	62	78	73	4,552
R 4年	281	367	494	696	1,083	579	235	141	45	44	57	88	4,110

7) 新嵐山キャンプ場[グランピングサイト]利用者数推移 (年度毎の月別) 単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R 3年		27	8	143	223	77	72	8	6	15	24	25	628
R 4年	6	48	25	155	263	141	67	16	4	33	12	15	785

8) 顧客満足度調査(指定管理事業者による利用者へのアンケート調査)

・調査対象日 令和4年4月1日～令和5年3月31日

・回答数 4,517件(昨年度2,076件)

※配布方法 - 精算時にアンケート用紙を配布(1グループに1枚)

[レストラン(コロボックル/スカイパーク)・総合カウンター]

※回収方法 - 施設内入口3箇所に専用回収箱を設置

○グリーンシーズン(4月～11月)満足度集計

場所/項目		満足	どちらでもない	不満
レストラン部門	コロボックル(2F)	85.1%	12.6%	2.3%
	スカイパーク(1F)	84.4%	13.8%	1.8%
	フォレストテラス	93.6%	4.3%	2.1%
フィールド部門	キャンプ	97.9%	1.8%	0.3%
	グランピング	96.7%	1.3%	2.0%

○ウィンターシーズン(12月～3月)満足度集計

場所/項目		満足	どちらでもない	不満
レストラン部門	コロボックル(2F)	86.8%	11.3%	1.9%
	スカイパーク(1F)	86.9%	10.1%	3.0%
フィールド部門	スキー場(コンディション)	71.3%	13.8%	14.9%

[参考]スキー場の満足度集計の項目別

コンディション:71.3%(昨年度:66.0%) / レイアウト:73.5%(昨年度:55.6%)

/ 設備:76.2%(昨年度:63.5%) / スタッフ対応:85.8%(昨年度:75.6%)

建設事業等の説明 (単位：円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
メムロスキー場 人工降雪機設置 工事	22,770,000		22,700,000		70,000	樫山工業株式会社 R4. 7. 15～R4. 11. 30
合 計	22,770,000		22,700,000		70,000	